

PMMoV (P_{1.2.3}) 抵抗性

ピーマン L4 みおぎ



PMMoV (P_{1.2.3}) 抵抗性 ピーマン L4みおぎ

品種特性

- トウガラシマイルドモットルウイルス PMMoV (P_{1.2.3}) に対して抵抗性 (L⁴) があります。
- 青枯病に対して「みおぎ」程度の抵抗性があります。
しかし、他のウイルスや病気に対しては、抵抗性はありません。
- 「みおぎ」よりも収穫までに時間がかかり 1 割くらい減収となります。
- 1 果重は 30～40g で、「みおぎ」に比べ、緑がやや濃く短めの果実で良くそろいます。

栽培の要点

- より収量を安定させるためには、草勢の維持がポイントです。
若苗定植して 1～3 分枝の花を摘む。
V 字に仕立て素直に主枝を伸ばし、側枝の整枝により草勢を保つ。

「L4 みおぎ」導入上の注意点

- 導入に当たっては、指導機関と相談してください。
「みおぎ」や他の L³ 品種にウイルスの疑いがあれば、その株を検査してください。
もし、PMMoV (P_{1.2.3}) であれば、非常に強い感染力があり、収穫、整枝等で簡単に広がり、産地全体に大きな打撃となります。圃場を良く観察し、抜き取りを徹底してください。
PMMoV (P_{1.2.3}) に対して「L4 みおぎ」は抵抗性がありますが、他のウイルスや病気であれば抵抗性はありません。
- えそ障害株が発生することがあります。
ウイルス密度を下げてから栽培してください。
- PMMoV (P_{1.2.3}) の発生したハウスでは、全面積で 3 作続けて L⁴ 品種を栽培することで、圃場が清浄になり L³ 品種栽培のできる可能性があります。
土壌のウイルス検定を行って、清浄であれば L³ 品種等を栽培することで、抵抗性遺伝子が長持ちし、産地の継続発展につながります。

現在のところ、L⁵、L⁶・・・といった次の抵抗性素材はありません。
産地の継続発展のために L⁴ 品種を有効に使ってください。

公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1
Tel. 047-387-3827 Fax. 047-386-1455